

夏季ダボス会議に 高1の2人参加へ

被災体験伝える

BEYOND
Tomorrow



各国の首脳やビジネスリーダーが集まり、中国大連市で14日から開かれる「夏季ダボス会議」で、東日本大震災の被災地を代表して

仙台育英高校1年の日下マリアさん(写真右)と菅原彩加さん(写真左)が被災体験を話す。
会議には中国の温家宝首

相はじめ経済、政治など幅広い分野から1500人以上が参加する。2人は震災遺児を支援する団体の公募に応じ、意欲が認められた。16日までの会議期間中には、四川大地震の遺児との交流も予定されている。
自宅ごと津波に流され、母と祖母を亡くした菅原さんは「各国のリーダーが被災地に関心を持つように体験を伝えたい」。父親を亡くした日下さんは「家族がいるという日常のすばらしさを伝えたい」と話した。